

まちづくりは人づくりから

「明日を担う子どもをしっかりと育てる」とことは、きらめく本市の将来のまちづくりのために最も重要な目標の一つです。本市教育委員会では、この目標を実現するためにさまざまな取り組みを行っています。

このたびは、いずれも「家庭」「学校」「地域」の協働で推進する2つの事業、「モラルやマナー・ルールを大切にす
る風土（人）づくり」を推進するための「草の根活動」と「トリニティープラン」（学力向上推進事業）を紹介します。

「モラルやマナー・ルールを大切にす風土（人）づくり」事業

草の根活動

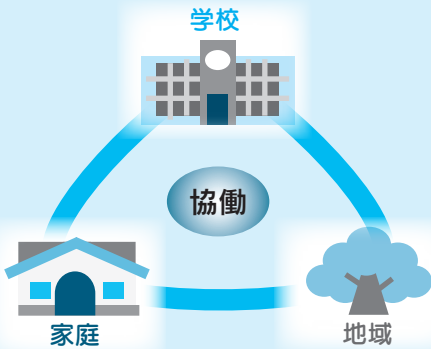
昨年2月に作成した、「モラルやマナー・ルールを大切にす風土（人）づくり」鳥取市版スタンダード（市報1月号で紹介）において「めあて」とする子どもを育成するためのさまざまな取り組みを、地域や家庭、学校のさまざまな現場で「草の根」的に広げていきます。今年度は18団体が実施予定です。



モラルやマナー・ルールを大切にす風土（人）づくり
鳥取市版スタンダード（抜粋）

家庭	めあて
	<ul style="list-style-type: none"> ● 返事・あいさつができる子 ● 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子 ● 家（家庭）の仕事をする子 ● 家（家庭）のきまりごとをまもる子 ● 早起きをする子
	めあて
学校（園）	めあて
	<ul style="list-style-type: none"> ● 返事・あいさつができる子 ● 言葉づかいを大切にす子 ● すすんで掃除ができる子 ● 集団（みんな）のルールやきまりごとをまもる子
地域	めあて
	<ul style="list-style-type: none"> ● あいさつができる子 ● 地域の行事や活動に参加する子 ● 住んでいる地域をきれいにす子

トリニティープランの概要



学校の役割

- 学習状況の実態把握と分析
- 保護者向けの授業の実施
- 家庭・地域への広報活動

家庭の役割

- 家庭学習の呼びかけと実態把握
- 子どもとの会話・話し合い
- 授業支援ボランティアへの参加

地域の役割

- ボランティアなど体験学習への協力
- ゲストティーチャーとしての授業参加
- 教育コミュニティ誌の発行

学力向上推進事業

トリニティープラン

学校・家庭・地域が三位一体（トリニティー）となって、地域の教育力の向上に取り組みます。中学校区ごとの取り組みなので、小学校と中学校が連携して年代間の協調や学びの連続を実現できること、広いエリアで立場を越えた人間関係を形成できることが特徴です。今年度は18中学校区が実施しています。

津ノ井小学校PTAの取り組み

あいさつや生活習慣、環境保護に関することなどについて、みんなが気づいたことを表す「標語」を募集しました。集まった標語を看板にして掲示することで、日ごろの生活や行動を見直し、気持ちよく暮らし、心がけが確認できました。



あいさつ標語の人気投票

【集まった標語】

エコさがしとくいになろう津ノ井っ子
あいさつは心を つなぐまほうの言葉

富桑小学校PTAの取り組み

参観日の保護者のマナーアップの啓発により、参観中の私語や携帯電話の利用が減少しました。また、休日参観日に保護者が同伴して登校する「カルガモ登校」により、安全が確保できるとともに、児童・保護者ともマナーアップの効果もありました。さらに、「あいさつ標語」の募集を行いました。

【集まった標語】

あいさつは
笑顔づくりの第一歩
あいさつは心を
つなぐりボンだよ



親子いっしょに「カルガモ登校」

気高中学校PTAの取り組み

家庭学習啓発のチラシを作成し、全戸に配布しました。生活習慣に関するアンケートも合わせて実施し、生活習慣の改善を確認することができました。

また、登校時に生徒や先生が校門に立ってあいさつを交わす「やまびこ運動」を行い、さわやかな朝に快活な声が響き渡っています。

さらに、情報メディア生徒学習会を開催し、パソコンや携帯電話でのインターネット利用は、便利さと危険が隣り合わせであることを確認できました。

【寄せられた感想】

「本当に携帯電話が必要なのか、考えさせられました」「携帯電話を持てば安心と思っていたけれど、それは安全とは違うものなんだと分かりました」



あいさつを交わす「やまびこ運動」

高草中学校区の取り組み

高草中学校と大正・東郷・明治・世紀小学校では、「元氣よく響け音読、わが町に」をテーマに取り組みを進めました。

小学校間、あるいは小中学校間の授業の公開や交換などにより、校区全体での生徒や家庭、先生の意味疎通を行うことができました。

また、「家庭学習のポイント」を小学校低・中・高学年と中学校の4段階に分けて作成し、各家庭に配布することで、家庭での学習意欲を喚起し、これまで不足していた家庭での学習時間を増やすことができました。

さらに、「たかくさ」の4文字をセンテンスの頭文字にした学習標語を各校に設置し、地域の学習意欲を高めています。



河原中学校区の取り組み

河原中学校と河原第一・散岐・西郷小学校、河原幼稚園では、「家庭学習の習慣化をめざして」をテーマに取り組みしました。

「家庭学習のススメ」というリーフレットを作成して全戸に配布し、家庭での学習時間の目安を家族にも分かりやすくしました。

また、中学校3年生が幼稚園で1年間継続して保育実習を行うことで、中学生の人間関係形成の実践や自己肯定意識の醸成を図りました。

そのほかにも、町内一斉あいさつ運動、地域住民有志が面接官を務める中学3年生の入試模擬面接など、二者が一体となった取り組みを行っています。



※紹介した活動は、いずれも平成19年度に行われたものです。

問い合わせ先 市役所第2庁舎学校教育課 ☎(0857) 20-3357